

令和 5 年第 4 回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「キャンパスピ市との友好都市協定の解消について」申し上げます。

市では平成 10 年から約 25 年間、オーストラリアのキャンパスピ市と友好都市協定を締結しておりました。

この間、友好都市として市民の派遣や受入、また、ふるさとまつりなどのイベントなどを通して、両市の多くの市民が交流に携わり、友好を深めてきたところでございます。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、人の交流などが途絶えていたことを踏まえ、キャンパスピ市側で友好都市協定についての再考が行われ、その結果、残念ながら友好都市協定を、今後、継続しないことを決定した旨の連絡がございました。

これにより、友好都市協定が令和 5 年 9 月 19 日をもって解消されましたので、ご報告をさせていただきます。

次に、「がん患者アピアランスケア助成事業について」申し上げます。

現在、がんは日本人の死因の第 1 位であり、生涯のうち約 2 人に 1 人は、がんに罹患すると推計されています。

また、がん医療の進歩に伴い、治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増えており、がん治療に伴う外見の変化は、患者の社会生活に大きな影響を与えています。

こうしたことから、がん治療に伴う外見の変化による、精神的及び経済的負担を軽減し、安心して社会生活を継続していくための支援を行うため、今

後、必要な経費を提案してまいります。

市としましては、がんになっても安心して自分らしく生活できるよう一人ひとりに寄り添う支援に取り組んでまいります。

次に、「保育の質の向上に向けた取組について」申し上げます。

現在、市では、「公立保育所の役割及び体制の検討」及び「保育士の魅力ある働き方の推進」の2つの方向から保育の質の向上に向けた取組を進めております。

「公立保育所の役割及び体制の検討」では、今年度から、「公立保育所の役割及び体制検討委員会」を設置し、これまで4回の会議を行い、引き続き、令和6年度にかけて調査、審議を行っていくところでございます。

「保育士の魅力ある働き方の推進」では、公立園と私立園が協働し、保育士自らが、課題解決に向けた取組を提案するオフサイトミーティングを開催しているところでございます。

これにより、現場の保育士の想いや考えを柔軟に取り入れ、公立園と私立園が連携し市全体で「保育士の魅力ある働き方」を検討・推進していく、この市独自の取組を進めていきます。

また、園長たちを対象に、保育士たちの声を受け止め、風通しの良い園づくりの重要性を再確認するための研修会も開催しております。

引き続き、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、保育士、保育関係事業者、そして市と、オール白井で、白井の子どもたちの健やかな育ちを支える取組を進めてまいります。

次に、「ダイハツ千葉販売株式会社及び明海大学との包括連携に関する協定について」申し上げます。

市は11月22日に、ダイハツ千葉販売株式会社と、また、同日に明海大

学と、それぞれ包括連携に関する協定を締結いたしました。

ダイハツ千葉販売株式会社とは、環境保全や地域イベントにおける協働を、また、明海大学とは、人材育成や歯科保健医療を通した総合的な健康づくりにおける協働を進めることとしております。

これまで、様々な民間企業との包括連携を進めてまいりましたが、今回、教育研究機関とは、はじめての包括連携協定の締結となりました。

大学が持つ知的資源を活用し、幅広い分野における協働を進めることにより、市民サービスの向上と地域の活性化をよりいっそう推進してまいります。

次に、「市マスコットキャラクター「なし坊」と「かおり」のクラウドファンディングについて」申し上げます。

本年9月から開始しました、新たな「なし坊」と「かおり」の着ぐるみ製作費用を募るクラウドファンディングは、11月20日に目標金額の191万円を達成することができました。

この場をお借りしまして、「なし坊」と「かおり」を応援して下さった皆様に、心から感謝を申し上げますとともに、議員の皆様にも応援をいただき、誠にありがとうございました。

なお、寄附につきましては、予備用の手袋作成費用に充てるため、11月末まで受け付けしておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

日頃から「なし坊」と「かおり」を応援して下さる皆様の思いをしっかりと受け止め、新しい「なし坊」と「かおり」がイベントなどで、更に活躍できるように準備を進めてまいります。

最後に、「社会の変革に対応した地方公務員制度のあり方に関する検討会の参加について」申し上げます。

新たな時代にふさわしい地方公務員制度やそのあり方について、総合的な見地から検討を行うため、総務省は「社会の変革に対応した地方公務員制度のあり方に関する検討会」を設置しました。

令和５年１０月１７日に初めての検討会が開催され、日本赤十字社社長の清家篤氏を座長に、全国知事会や経済同友会の代表者、民間の有識者など１８名の構成員の一員として、私が、全国市長会を代表して検討会に参加することとなりましたので、ご報告を申し上げます。

地方公務員として３６年間、そして市長として４年余り、行政に携わり、これまで培ってきた経験と知識を基に、私は、地方公共団体の代表として、また、行政の現場の代弁者として、自分なりの意見を申し述べてまいりたいと考えております。

引き続き、私は、自らが様々な分野に参画し、本市も含め地方公共団体の発展に向けた取組に、積極的に挑戦をしてまいります。

以上で諸般の報告を終わります。